

No. 10-5

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 10 - 5

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		5		作成日		26年 6月 16日		
事務事業名		元気老人サロン活動事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち						課名	長寿福祉課		係名	高齢福祉係
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる							シート作成者			
	施策	2-2-3 高齢者福祉の推進						予算費目	会計		一般	
									款		3	
主要施策	⑤ 生きがいづくりと社会参加の促進						項		1			
							目		2			
個別計画名		高齢者福祉計画										
		介護保険事業計画										
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	在宅でおおむね60歳以上の高齢者				身近な地域でのふれあいの場の提供を行い、生きがい対策及び介護予防対策の観点から各種事業を通じて高齢者が介護保険制度上の要支援、要介護状態になることの予防や閉じこもり防止に努める。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）											
健康指導、教養講座等の開催、趣味娯楽やスポーツ活動、健康体操、児童・生徒との世代間交流を各自治会単位で毎月1回以上実施し、地区公民館等会場までの歩行による足腰の鍛錬、各種事業への取り組みによる認知症予防、閉じこもりの防止へとつなげていく。												
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 13年度		～		平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等		東員町元気老人サロン事業実施要綱										
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		8,975			8,760			9,318				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		7,457			7,242			7,800			
直接事業費（千円）A		7,457			7,242			7,800				
人件費（千円）B		1,518			1,518			1,518				
内訳	一般職員（人・千円）		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518		0.23 人 1,518					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	25年度		26年度	27年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	サロン事業参加人員			人	16,800	15,426	15,600				
	②											
③												
	説明	サロン事業の年間参加人員を指標とする。										

事業名	元気老人サロン活動事業	シート作成課	長寿福祉課
-----	-------------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		高齢者の方々は生きがいや健康保持に関心を持ち、自らの意識で参加していただいています。会員制の老人会とはまた違った生きがい対策事業となりつつあります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			シニアクラブ補助金との重複傾向にあり、当該事業のあり方について検討が必要です。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			補助金のあり方を含め、地域見守りを目的とした活動を検討していく必要があります。
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

本事務事業の実施適切性の説明

全自治会において事業が定着したが、事業への参加者が固定化されていることから、高齢者の生きがい対策、介護予防及び健康増進の観点から、新規の参加者が増加するよう事業を推進していく必要があります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	3	3	2	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
今後の改革・改善目標	身近な地域でのふれあいの場の提供を行い、生きがい対策や介護予防対策を図るため、継続して取り組んでいく必要があります。また、地域見守りを目的とした活動を検討していく必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	2	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
コメント	高齢者の閉じこもり防止や、介護予防の観点から、できるだけ多くの方が参加でき、新規の方が参入する方策（事業メニュー）を検討し、実行に移していただきたい。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--